１．件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第９１回）の議題に係る面談
２．日時：令和３年５月２６日（水）９時４０分～１０時１５分
３．場所：原子力規制庁１８階会議室
４．出席者
原子力規制庁　原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
竹内室長、大辻室長補佐、新井安全審査官、石井係長、久川係員、塩唐松係員
澁谷企画調査官（テレビ会議システムによる出席）、
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室　担当３名
５．要旨
〇原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）に対して、次回（第９１回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題について、以下のとおり連絡した。
- ALPS スラリーの安全な保管と今後の対策について
  - ✓ HIC 内に保管されている ALPS スラリーの取扱いについては、これまで検討会や面談等で確認してきた内容を踏まえた上で、積算吸収線量が 5000kGy を超えているまたは超えるおそれのある HIC について、今後の対応方針を議論することとしたい。
  - ✓ スラリー安定化処理設備については、スラリー脱水物の保管容器の耐用年数等について議論することとしたい。
- ALPS 処理水の処分に係る検討状況について

〇また、以下の議題については情報共有を目的として資料配布のみとし、時間に余裕がある場合において議論することとした。
- 廃棄物設備関連の状況について
- 2 月 13 日に発生した地震を踏まえた耐震設計の基本方針について
- 一時保管エリア（コンテナ）の調査状況（車置き場事案を含む）について
- 2 号機シールドプラグの汚染調査状況について
  - ✓ 第 7 回福島第一原子力発電所廃炉・事故調査に係る連絡・調整会議及び廃炉・汚染水・処理水対策チーム事務局会合における議論を踏まえた資料を追加すること。
- 1/2 号機排気筒ドレンサンプピットの追加調査について

〇東京電力は上記内容について了承し、資料配布のみとする議題に以下の議題を追加した上で、適切に対応する旨回答があった。
- 1 号機燃料取り出し用大型カバー設置に向けた取組状況について
- 地震・津波対策の進捗状況について